



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A.

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

ベトナム情報レポート（2021年12月31日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク
株式会社NCネットワーク

今年もコロナ一色の年でした。現在ベトナムは過去最高の新規感染者数（約 15,000 人/日）となっていますが、以前のようなロックダウンはなく with コロナが普通と感じられるようになりました。私の周りでも日本人・ベトナム人に関わらず感染者が増えていますが、彼らはワクチンを 2 回打っているので重篤化せず、自宅隔離措置がされています。しかしベトナムのコロナ死者数は毎日 200 人を超えており、これは高い致死率であると思われます。亡くなった方の多くは 50 歳以上であり、彼らの多くは地方在住のためワクチンを 2 回打っていない、またはマイナーなワクチンを接種したと言われています。直近では 12 月下旬に突然、政府より 3 回目のワクチン接種について連絡がありました。条件は 50 歳以上、2 回目接種から 3 か月以上経っている人でした。（その 1 週間後に、18 歳以上も接種可能となりました。）3 回目接種の連絡が早く来た理由に、ワクチンの有効期限が近付いているという情報がありました。

北部（ハノイ）と南部（ホーチミン）を比べると、北部では少し規制が厳しいようです。北部・南部ともに工場では定期的な PCR 検査を実施しており、その度に数人の陽性者が見つっていますが、南部では感染者を自宅隔離し工場は通常操業しているのに対し、北部では工場の一部操業停止などの措置が取られているようです。ベトナムでは、以前に厳しい規制の下、工場での寝泊まり・操業停止を強いられた経験があります。工場で働く従業員は、あの規制だけは 2 度と起こってほしくないと思っており、今のように陽性者が出て工場を動かしていく方法で問題ないと考えています。オミクロン株がいずれベトナムにも入ってくると思いますが、海外からの入国者に対しての入国条件や隔離日数等を更に厳しくするような動きはありません。国は経済を回す方向に舵を切っているようです。